

平成24年度 事務事業評価シート（平成23年度実績分）

事務事業名	東部総合運動場施設管理		部課コード	2007	予算事業科目	011008020220	事	単	区分	継続
所管部署	担当部局	教育委員会	部局長名(2次評価者)	松原 和廣		個別事務	全部	011008020220	-	
	担当部署	スポーツ振興課	所属長名(1次評価者)	和田 義直					-	
	電話番号	088-833-4351	E-mail	kc-200700@city.kochi.lg.jp					-	

1 事業の位置付け

予算科目(平成24年度)	高知市総合計画・実施計画施策体系での位置付け									
会計	01 一般会計	大綱	03 育みの環	政策基本方針	すべての市民が健康で文化的な生活をおくれるように生きがいを育む生涯学習・スポーツへの参加を促進するとともに、生涯にわたる一貫した心身の健康づくりに取り組みます。					
款	10 教育費	政策	03 いきいき学び楽しむ生涯学習・スポーツの環境づくり							
項	08 社会体育費	施策	02 生涯スポーツの推進							
目	02 体育施設費	区分	04 東部総合運動場							

2 事業の根拠・性格

法律・政令・省令	スポーツ基本法、地方自治法第244条の2	法定受託事務
県条例・規則・要綱等		
市条例・規則・要綱等	高知市公の施設に係る指定管理者の指定手続きに関する条例及び同施行規則、高知市運動場条例及び同施行規則	
その他(計画、覚書等)		

3 事業の目的・内容等

対象	誰(何)を対象に	すべての高知市民			
意図	どのような状態にしていくのか	すべての市民が、健康増進のためスポーツを実施できるような環境づくりや、競技に取り組んでいる競技者がスポーツ活動に取り組めるような施設環境を提供する。			
手段	事業実施体制等	利用者のニーズに合わせた弾力的な運営や業務の効率化を図るため、指定管理者としてスポーツ振興事業団に施設管理を委任している。			
		事業開始年度 平成15年度 事業終了年度			
活動内容	どのような事業活動を行うのか	スポーツ施設の管理運営・スポーツ振興事業の実施・スポーツ振興に関する啓発普及活動			
成果指標	事業目的の成果を測る指標		指標設定の考え方		
	A	利用者人数(人)	管理する施設における利用者数		
	B	施設使用料(千円)	管理する施設における施設使用料(歳入)		
	C				

4 事業の実績等

			21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(計画)	備考欄	
成果指標	A	利用者人数(人)	284,000	283,000	282,000		目標値は対前年数値の5%上回る数値	
		実績	270,101	268,620	270,546			
	B	施設使用料(千円)	44,400	47,500	43,700			
		実績	45,287	41,640	41,535			
	C	目標						
		実績						
投入コスト	① 事業費	決算額(千円)	191,503	198,570	195,915	203,529	平成24年度は当初予算額	
		財源内訳	国費(千円)					
			県費(千円)					
			市債(千円)					
			その他(千円)					
			一般財源(千円)	191,503	198,570	195,915		203,529
	翌年度への繰越額(千円)							
	② 概算人件費等	人件費等(千円)	2,220	2,160	2,160	2,220		
		正規職員(千円)	2,220	2,160	2,160	2,220		
		その他(千円)						
		人役数(人)	0.30	0.30	0.30	0.30		
		正規職員(人)	0.30	0.30	0.30	0.30		
		その他(人)						
総コスト=①+②(千円)		193,723	200,730	198,075	205,749			
市民1人当たりコスト(円)		570	592	586		総コスト/年度末人口		
年度末住民基本台帳人数(人)		339,714	339,130	337,875				

5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

高知市東部地域の総合的なスポーツ施設として、スポーツ環境の整備・充実を図るとともに、他の公共施設とも連携し高知市のスポーツ振興に寄与している。

6 1次評価（所属長評価）

評価日（平成 24 年 8 月 24 日）

評価項目		評価基準	1次	平均点数	評価内容の説明
事業実施の必要性	① [施策体系等での位置付け] 事業の実施が市の総合計画・実施計画・市長マニフェスト等の目標達成に結びつくか、又は、事業の根拠等に結びつくか	A (5) 結びつく B (3) 一部結びつく C (1) あまり結びつかない D (0) 結びつかない	A	5.0	高知市総合計画の「いきいき学び楽しむ生涯学習・スポーツの環境づくり」の中で、「する」、「みる」、「ささえる」スポーツの推進を取組方針としており、事業実施の市民ニーズは高い。
	② [市民ニーズの傾向] 事業の実施に対する市民のニーズ（需要量）の傾向はどうか	A (5) 非常に多い、急増している B (3) 横ばいである C (1) 少ない、減少している D (0) ほとんどない	A		
事業内容の有効性	③ [成果の達成状況] 事業の成果指標の達成状況は順調か	A (5) 十分に達成している B (3) 概ね達成している C (1) あまり順調ではない D (0) 十分な成果を望めない	B	3.0	健康増進・親睦を目的とした市民利用や、週末に開催される競技会の会場としてなくてはならない施設である。
	④ [事業の手法・活動内容] 事業成果の向上のための手法・活動内容の妥当性	A (5) 妥当である B (3) 概ね妥当である C (1) 検討の余地がある D (0) 見直しが必要である	B		
事業実施の効率性	⑤ [アウトソーシングの可能性] 事業の実施にかかる民間活力利用の可能性	A (5) 実施済・できない B (3) 行政主体が望ましい C (1) 検討の余地はある D (0) 十分可能である	B	4.0	すでに、アウトソーシングを実施し、効率的な管理運営が行われている。
	⑥ [事業統合・連携・コスト削減] 類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性	A (5) 現状が望ましい・できない B (3) 概ね効率的にできている C (1) 検討の余地がある D (0) 十分可能である	A		
事業実施の公平性	⑦ [受益者の偏り] 事業の受益者が特定の個人(団体)等に偏りがなく公平性が保たれているか	A (5) 極めて公平性が高い B (3) 概ね保たれている C (1) 偏っている D (0) 公平性を欠いている	B	3.0	施設の利用や、施設で開設されるスポーツ教室等は広く市民に開放されており、公平性は保たれている。また、施設使用料や受講料も徴収しているため、適正な受益者負担となっている。
	⑧ [受益者負担の適正化] 事業実施の財源として、受益者負担割合（一般財源負担割合）は妥当か。補助金等交付事業の場合、対象経費は妥当か。	A (5) 適正な負担割合である B (3) 概ね適正な負担割合である C (1) 検討の余地がある D (0) 検討すべきである	B		
総合点	15.0	総合評価	A 事業継続 (総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合) <input checked="" type="radio"/> B 経費削減に努め事業継続 (総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合) C 事業縮小・再構築の検討 (総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合) D 事業廃止・凍結の検討 (総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合)		

7 2次評価（部局長評価）

評価日（平成 24 年 9 月 13 日）

総合評価	評価理由・今後の方向性等
A 事業継続	一次評価のとおり
<input checked="" type="radio"/> B 経費削減に努め事業継続	
C 事業縮小・再構築の検討	
D 事業廃止・凍結の検討	

8 特記事項